

会議録

会議の名称	平成22年度第6回西東京市健康づくり推進協議会
開催日時	平成23年3月28日 午後1時から2時30分まで
開催場所	西東京市保谷保健福祉センター2階 健診室
出席者	玉置会長、内田副会長、志藤委員、橋岡委員、石田委員、平田委員、石井委員、池田委員、高橋委員、大島委員、高梨委員
議題	(1) 第5回議事録について …資料 第5回議事録（案） (2) 健康づくり推進プランの行政施策目標の平成 21 年度進捗状況について…資料 1 (3) 健康づくり推進プランの評価方法の検討結果について…資料3 (4) 答申の報告
会議資料の名称	資料…平成22年度第5回西東京市健康づくり推進協議会 議事録（案） 資料1…「西東京市健康づくり推進プラン（行政の施策目標）」進捗状況管理表 資料2-1…健康づくり推進プラン評価検討委員会 実施概要 資料2-2…健康づくり推進プランの各目標における評価指標の見直し結果一覧 資料2-3…市民アンケート調査
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	

1 開会

「市民参加条例」に基づき、本協議会は公開傍聴人の参加はなし過半数以上の出席で本協議会は成立

2 議事

(1) 第5回議事録について

修正意見なし、承認
議事録は個人名を除き情報公開コーナーに設置

(2) 健康づくり推進プランの行政施策目標の平成21年度進捗状況について（資料1）

1. 西東京市健康づくり推進プランの位置づけと進行管理体制について

健康づくり推進プランは地域福祉計画が上位の計画になり、地域福祉計画策定・普及推進委員会と地域福祉庁内推進委員会が進行管理の役割を担う組織として位置づけられている。関連部署の課長職で構成される地域福祉庁内推進委員会において、行政の施策目標について毎年の達成状況の確認・評価と翌年度の取り組みに関する助言を得ることになっている。この開催を2月7日午前10時から実施し確認・評価した。また地域福祉計画策定・普及推進委員会へは、同日の2月7日午後7時からの開催において報告を行った。特に意見はないが、事務局としては取り組みの遅れている目標があるので、引続き目標達成に努力していく。

進捗状況の評価については、19年度までの中間進捗状況の評価を参考に、20年度の実績を評価している。また21年度の評価については、20年度の評価を基にしている。

2. 平成21年度の評価において変更となった目標について

1ページ

目標1「市民が自らの健康状態を知り、生活習慣を見直す」について「1健康診査・検診の充実」と「2事後指導の充実」としている。この分野は20年度の医療制度改革により、メタボリックシンドロームに着目した特定健診に変更となっているので、斜線が入っている。

「特定健康診査を知っている人の割合」及び「後期高齢者医療保険加入者の健康診査を知っている人の割合」については、統計データがないので、市民アンケート調査後に評価となる。この市民アンケートは、次期プランの策定に向け来年度に計画をしているので、その時点で評価を行う。

2ページ

「1-2がん検診」について20年度は、特定健診に体制が変わったことで混乱し、受診率が全体的に下がった。これを受けて、医師会の協力により市が実施するがん検診毎に受診率と検診の精度を向上するために、20年度に検討部会を設置し、毎年事業評価を行っている。その成果もあり、胃がん検診の受診率、胃がん要請検者受診率、大腸がん検診受診率及び肺がん受診率について、大幅に増加することができたので、評価を1ランク上げている。

21年度の実績の欄の都平均及び全国平均について、まだ集計値が報告されていないので空欄としている。肺がんの検診受診率、都平均については前年度の数値が残っているので、削除をお願いする。

3ページ

「1-3成人歯科健診」について21年度からは法律に基づいた健診としている。また、毎年

受診者が順調に増加している。

目標2「市民が積極的に健康を維持・増進する」ための支援施策として、「3生活習慣病・介護予防及び健康増進のための教育・相談の充実(成人)」と「4介護予防・自立支援の促進」について、この分野の評価の変更箇所は「骨粗しょう症予防教室利用者数」であるが、20年度に個別検診方式に変更したことにより、大幅に増加することができたが、21年度に半減となってしまった。そのため、ランクを1つ下げた。

4ページ

評価の変更はない。

「3-4栄養・食生活に関する健康 教育・相談」について今年度は朝食メニューコンクールを開催し、入賞作品の表彰、レシピ集及びカレンダーを作成した。23年度には、入賞作品の周知及び給食や講習会等での利用を推進していく。

「3-5 こころの健康に関する教育・相談」は、今年度より「からだと心の電話相談」専用ダイヤルを設置し、常勤の保健師が相談に応じている。23年度は、庁内関係部署の連絡会を設置し、市全体としての取り組みをスタートしたいと考えている。

5ページ

目標3の「次世代を担う子どもたちが(を)ゆたかに育つ(育てる)」ための親と子への支援施策である。このページは、評価の変更箇所はない。

6ページ

「5-4 栄養・食生活に関する教育・相談」は20年度より離乳食講習会について、地域子育て支援センターや保育園とタイアップして実施できていることにより、参加率及び利用者数が増加している。

「5-5 学童・思春期の心と身体の健康に関する教育・相談」についても、実績は増えていないが、母親支援を密に行っていることや、教育部署との連絡会を定期的に実施できている事などにより、それぞれランクを1つ上げている。

7ページ

目標6「6子どもの成長に応じた健診・助言の充実」の支援施策について評価している。

「6-2 乳児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診」は、この内、6～7ヶ月健診及び9～10ヶ月健診については、受診率が上がっているため、1ランク上げた。

1歳6か月児健診及び3歳児健診については、受診率が下がっていることから1ランク下げた。これは21年度に大流行した新型インフルエンザが影響していると考えられる。

「6-3 妊婦歯科健診、1歳6か月児歯科健診、3歳児歯科健診、5歳児歯科健診」については、妊婦歯科健診は受診率が上がっているが、3歳児歯科健診、5歳児歯科健診については、先と同様に新型インフルエンザが影響して下がったと考えられる。ランクを変更している。1歳6か月児健診についても受診率が下がっているが、21年度から受診方法を個別健診に変更しているため、22年度になってから受診されているお子さんもいるので、比較が難しく20年度と同様の評価としている。

8ページ

「6-4 乳幼児定期予防接種」について麻しん・風しん混合の第3期及び第4期については、接種率が向上しているため、ランクを1つ上げている。

9ページ

「6-5 乳幼児健診後フォロー健診・教室等」について乳幼児経過観察健診の受診率が下がり、また、経過観察健診（心理）及び心理経過発達健診の受診率は向上しているためそれぞれランクを1つ変更している。

10ページ

「8-3感染症予防への対応」について、21年度は新型インフルエンザの流により、市報、ホームページ、掲示用の情報ニュース、パンフレット、マスメディア他を活用して、可能な限り迅速に情報提供を行っている。また、対策用具の備蓄や業務継続計画を作成している。このことにより、評価を1ランク上げて順調とした。

○会長：

平成21年度の進捗状況の評価について、何か意見はあるか。

○委員：

1ページ特定健診の目標65パーセント以上となっているが、2年間横ばいなので順調ではない。上げていかないといけないので何かやっているか。

○事務局：

23年度においては、新たな工夫として、健診の通知をする封筒の色を工夫することを考えている。またがん検診と合わせて40歳の方に特定健診を含めて、受診勧奨通知を考えている。

○委員：

特に40代、50代の受診率が低い。その対策を医師会とともに練らないといけない。

○事務局：

22年度から勧奨通知を行った。また誕生月に通知を実施するなど医師会と対策を考えいきたい。

○会長：

胃がんのハイリスク検診をPRするのと同時に受診勧奨を行う。

○委員：

詳細なのでサマリーのような一覧をつくり、どこが不足なのかわかるようにしたほうがよい。ポイントをどこにおいているのかわからない。

○事務局：

16年度に策定し、20年度から評価を行っている。23年度よりアンケートをとり新たに策定するので、その際は整理させていただく。そのため現在のものは報告としている。

○委員：

4ページ4で高齢者の介護予防事業はどうなるのか。

○事務局：

要綱改正により制度が大きく変わってくるが23年度は22年度と同様な方法で実施する。24年度からは生活機能評価を医師だけでなく、包括などもやるようになる。高齢者支援課がどのような仕組みをつくるかによる。

○会長：

麻疹風疹4期の接種率が低い。この対策として何をしているのか。

○事務局：

個別通知を行っている。高校生が対象で全国的に低いので国としても課題としている。

○会長：

評価が順調になっているが、海外への留学とからんでくる。大学によっては抗体を調べて留学させないなども考えられる。休日診療などを使ってもよいのではないか。

○事務局：

医師会の協力が得られるならば、今後、検討していきたい。

○会長：

その他、修正等であれば、事務局に一任する。

(3) 健康づくり推進プランの評価方法の検討結果について（資料2-1・2-2・2-3）

21年度に評価検討委員会を立ち上げ、5回開催した。（資料2-1）

西東京市健康づくり推進プランは16年度に策定しているが、国の健康日本21、都の推進プランが見直され延伸されたため西東京市も延伸した。そのため23年度にアンケート調査を行い、24年度に検討し、25年から実施していく。

内容を精査し、必要のないものを削除し、制度改正により新たに追加したものを新規、年齢区分の変更や制度改正による変更を改訂とした。

母子事業についても成人と同様に検討していく。

○会長：

健康づくり推進プランの評価方法について、何か意見はあるか。

○委員：

前回の健康づくり推進プランは市民周知がされていない。あまりに多岐にわたり過ぎるので、次回の推進プランは絞りこんでやっていきたい。

○事務局：

健康日本21の評価指標が70項目と多すぎるため、国も絞り込んでやっていく考えのようである。健康づくり推進プランのアンケートを23年度中に5000人位の予定で実施する。前回の回収率は4割位であった。

○会長：

推進プランを作っても評価ができないのでは、何をやっているのかわからない。二次医療圏でも同じようなものを作っている。市独自でやる理由はあるのか。

○事務局：

市民が積極的にやるため、市においては任意で地方計画を策定している。

○委員：

小さい範囲でやらないと無理ではないか。国の健康日本21の達成率4割である。

○事務局：

国の目標を達成するには市レベルで絞ってやらなければいけない。

○委員：

原因と対策をこまめにやらなければいけない。

(4) 健康都市宣言の報告

記念式典が中止となったため健康都市宣言も3月6日に実施できなかった。23年度予算成立にむけて議会中である。議会の意見を踏まえて今後、検討することとなっている。

(5) その他

23年度は、25年度以降の新・健康づくり推進プランの策定について、具体的に動き出す年と考えている。詳細については、新年度の第1回会議において提案する。

福島原子力発電所事故による放射線の影響について、西東京市ホームページに掲載している。

3月6日に健康づくりイベントとして、西東京しゃきしゃき体操を実施した。ラジオ体操会の協力を得て、周知している。